

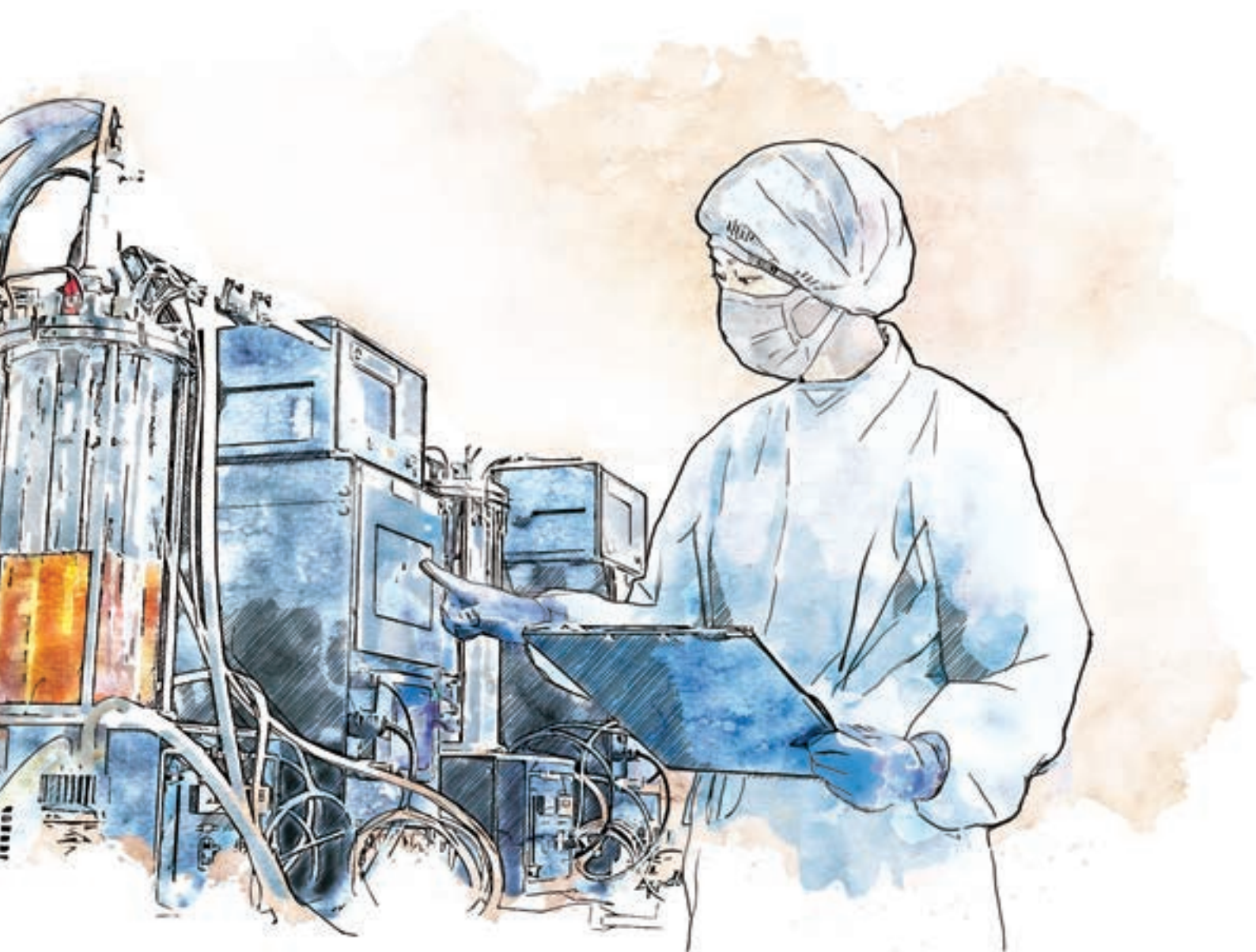


第22期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

株主のみなさまへ

THE BIOTECHNOLOGY
COMPANY™



タカラバイオ株式会社

証券コード：4974



TAKARA BIO INC.

遺伝子治療などの革新的な バイオ技術の開発を通じて、 人々の健康に貢献します

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第22期(2023年度)の事業概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 仲尾 功一

第22期(2023年度)の業績について

第22期(2023年度)の当社グループは、2025年度を最終年度とする6カ年の「長期経営構想2025」および3カ年の「中期経営計画2025」のもと、試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、ライフサイエンス産業のインフラを担うグローバルプラットフォームを目指すための取り組みを推進しました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置付けの変更による検査関連製品の販売減少、海外経済不況の影響を受けたライフサイエンス研究市場の低迷等により、43,505百万円(前期比44.3%減)と、減収となりました。売上原価は、売上高の減収等により16,597百万円(同50.3%減)となりましたので、売上総利益は、26,908百万円(同39.9%減)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が減少し23,905百万円(同1.3%減)となり、営業利益は、3,003百万円(同85.4%減)と減益となりました。

営業利益の減益にともない、経常利益は、3,405百万円(同83.5%減)、税金等調整前当期純利益は、2,853百万円(同86.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、1,480百万円(同90.8%減)となりました。

今後の見通し

試薬事業は、経済情勢等を背景として世界的にライフサ

■第22期(2023年度) 売上高・営業利益・研究開発費

売上高	435億円	前期比 ▲44.3%
営業利益	30億円	前期比 ▲85.4%
研究開発費	83億円	前期比 ▲2.9%
ROE	1.3%	前期比 ▲14.1ポイント

イエンス産業のアクティビティが低下していますが、地域別のグローバル戦略(グローバルで多極的なマーケティング/製造/営業戦略)を進めることにより増収を見込んでいます。機器事業も、日本、米国を中心に次世代シングルセル解析装置の新製品などにより増収を見込んでいます。

受託(CDMO)事業は、遺伝子・細胞プロセッシングセンター2号棟等を活用し再生医療等製品関連受託の増収を見込むとともに、遺伝子解析/検査関連受託においても、新規メニューの受託で増収を見込んでいます。

遺伝子医療分野は、mRNA関連酵素などのAM製品(製造補助剤)の増収を見込んでおり、全てのカテゴリにおいて増収となる見通しです。

売上高の進捗の見通しについては、上半期は通期の約41%、下半期が同59%を見込んでいます。特に受託(CDMO)事業については偏りが大きく、上半期は通期の約25%、下半期が同約75%を見込んでいます。

これらにより、第23期(2024年度)は売上高48,900百万円、営業利益5,000百万円、経常利益5,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,400百万円と、前期比で増収増益を予想しています。

同じく第2四半期累計期間は、売上高20,200百万円、営業利益150百万円、経常利益250百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円と、前年同期比で増収減益を見込んでいます。

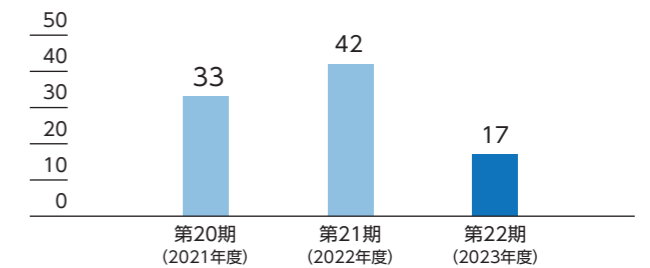
配当について

当社は、研究開発活動を積極的に実施していくため内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置付け、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくこと

を基本方針としています。具体的には、連結財務諸表における特別損益を加味せずに算出された想定当期純利益の35%を目途として剰余金の配当を行う方針ですが、資本効率の改善に努めるべく、第22期(2023年度)の期末配当金については、1株当たり17円00銭(想定当期純利益の約87%)としました。

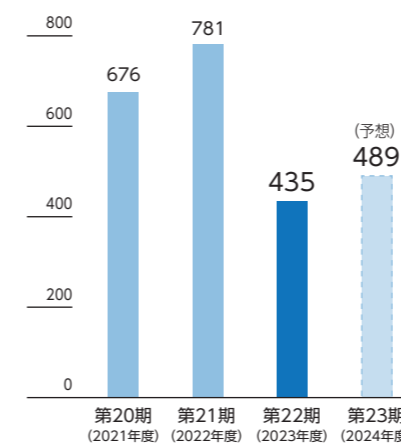
株主の皆様におかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援のほどお願い申し上げます。

■1株当たりの配当額(円)

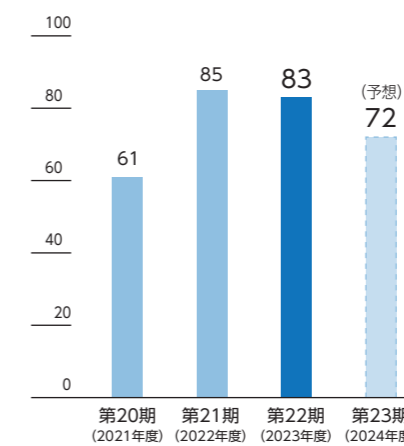


連結財務ハイライト

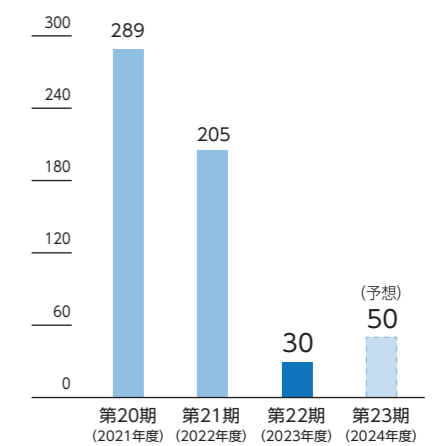
売上高(億円)



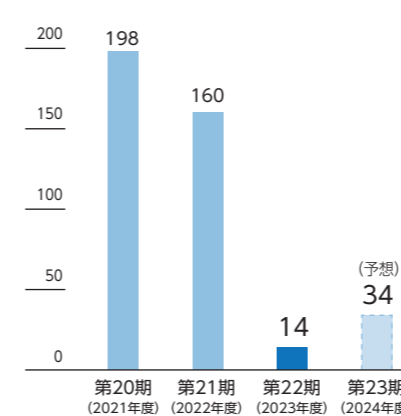
研究開発費(億円)



営業利益(億円)

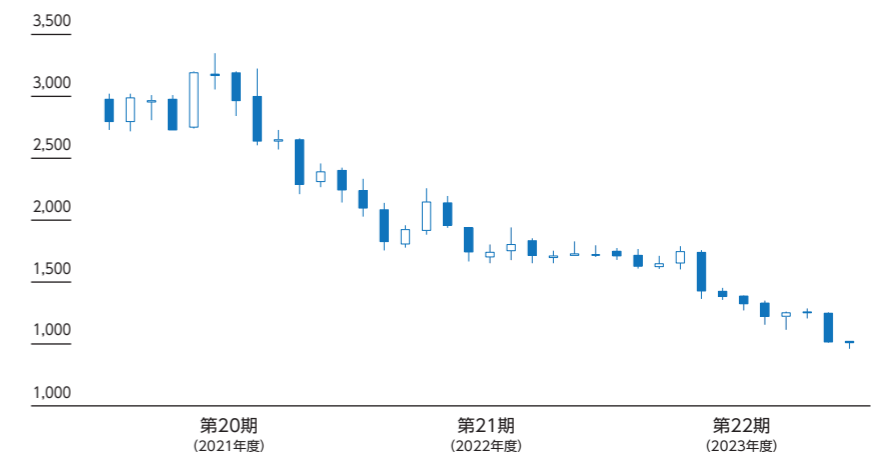


親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)



株価推移(円)

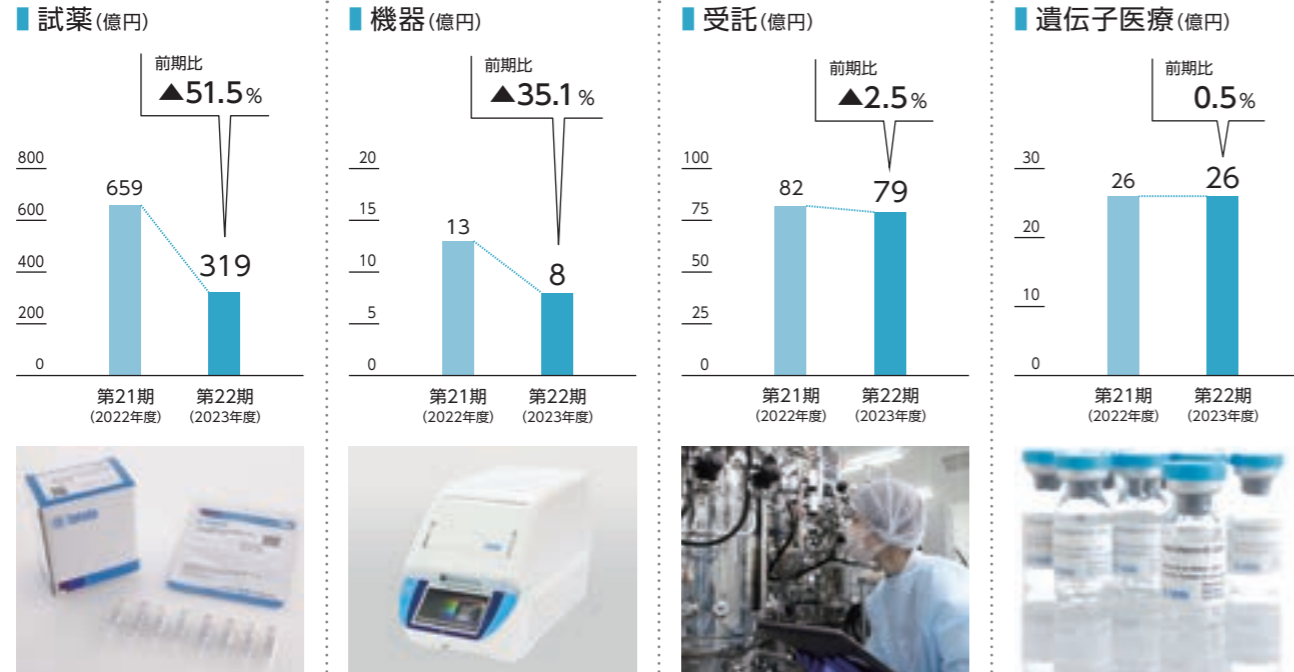
掲載期間：2021年4月1日～2024年3月31日



事業の概要

大学や企業のライフサイエンス分野の活動を試薬・機器・受託の提供を通じて支援する事業を展開するほか、遺伝子医療分野において独自の創薬基盤技術の事業化を進めています。

第22期(2023年度)売上高



一般研究用試薬は厳しい市況のなか前年比増収となりましたが、COVID関連試薬の大幅減少により、試薬全体として減収となりました。

COVID関連の需要減などによりPCR装置、細胞解析装置とも減収となりました。

再生医療等製品関連受託でCOVID関連の品質試験受託が減収となりました。遺伝子解析/検査関連受託ではNGS関連受託が回復しましたが、受託(CDMO)事業全体としては減収となりました。

RetroNectin®などの遺伝子治療薬製造補助剤が前期並みに推移しました。

NEWS 1

仏Stilla社とデジタルPCRシステムの日本独占的販売契約を締結

タカラバイオは、フランスStilla Technologies SASと同社のデジタルPCR*システムの日本における独占的販売契約を締結し、2024年1月よりデジタルPCR装置「Nio™+ system」を国内で独占的に発売しました。

デジタルPCRは、現在汎用されているリアルタイムPCRよりも感度、精度に優れ、微量サンプルからの遺伝子の測定に適しており、次世代の測定技術として注目されています。

発売した「Nio™+ system」は、すべての機能が1ユニットに統合されたオールインワン型のデジタルPCR装置です。反応液調製からデータ解析までの一連の操作を、本体のみで行うことが可能です。本体に専用チッププレートを挿入すれば、解析が完了するまで操作は不要です。さらに、直感的でわかりやすいデータ解析用ソフトウェアを搭載するなど、ユーザーの利便性を高めています。

当社は、装置販売に加え、専用試薬の開発を行い、同システムの販売拡大を進めていきます。



Nio™+ system

*デジタルPCR
検体を数千以上の小さな反応槽に分割し、それぞれの反応槽中で遺伝子を増幅させ解析する技術。デジタルPCRでは、各反応槽での増幅をデジタル化し集計することにより、より高感度・高精度な目的遺伝子の検出が可能になり、正確な定量を再現性よく行うことができる。

TOPICS

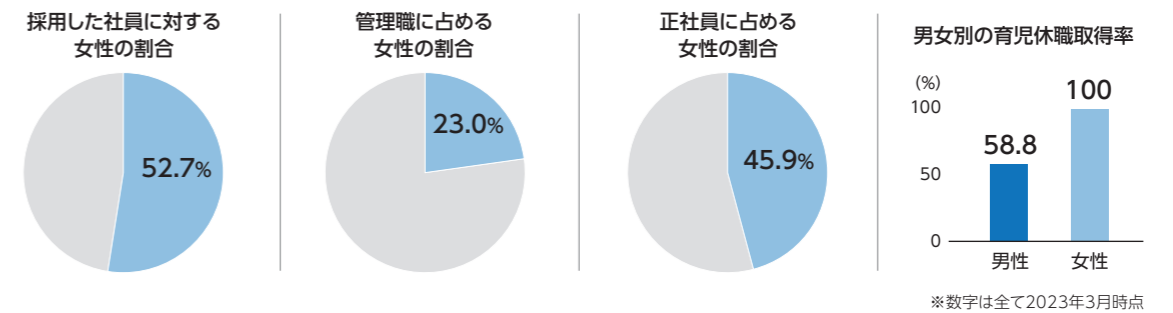
女性活躍推進企業として「えるぼし認定」3つ星を取得

タカラバイオは、女性の職業生活における活躍に向けての取り組みを行う企業として、2023年12月13日付でえるぼし認定(3つ星)を取得しました。

えるぼし認定とは、「女性活躍推進法」に基づいて行動計画を策定・届出した企業のうち、女性の活躍推進に関する取り組み状況が優良であるなどの一定の要件を満たした企業に対して厚生労働大臣が認定する制度です。5つの評価項目を満たすなど一定の要件のもとに1~3段階設けられています。

今回、当社は採用、働き方、管理職比率など、認定にあ

たっての評価項目を全て満たし、厚生労働省の「女性の活躍推進企業データベース」において公表していることが評価され、3段階目の3つ星のえるぼし認定を取得しました。今後も、社員が快適に働くことができる職場環境・労働環境の整備に努めるとともに、多様なライフスタイルや価値観に対応できる制度や環境づくりに取り組んでいきます。



働きやすい環境づくりへの取り組み

- フレックスタイム制度
- 在宅勤務・テレワーク
- 短時間勤務制度
- 育児休職からの復職支援環境の整備 (企業主導型保育所との連携や、育児休暇を取得した社員との交流)

NEWS 2

mRNAワクチン開発に適した高品質なRNA合成酵素(研究用試薬)を発売

タカラバイオは、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチン開発に適したRNA合成酵素「PrimeCap™ T7 RNA Polymerase (low dsRNA)」(以下、本試薬)を2023年12月に発売しました。

mRNAワクチンは、新型コロナウイルスに対するワクチンとして実用化されたことがきっかけとなり、感染症予防だけでなく、がん治療などの目的でも研究が広く行われています。

一般的に、ワクチンとして用いるmRNAは、RNA合成酵素(RNAポリメラーゼ)による酵素合成によりつくられます。人工的に酵素合成したmRNAには、目的とする一本鎖RNAに加え、RNA分子同士が重なった状態の二本鎖RNA(以下、dsRNA)が不純物として生じ、免疫反応を引き起こすことが知られています。このため安全で有効なmRNAワクチンの製造には、dsRNAの生成を最小限に抑える必要があります。

また、mRNAがワクチンとして生体内で機能するためには、mRNAにキャップ構造*といわれる修飾が必要となりますが、このキャップ構造の付加効率を高めることが課題の一つとなっています。

本試薬は、従来型のT7 RNAポリメラーゼを遺伝子工学的に改変し、さらに反応条件を至適化することで、RNA合成活性を損なうことなくdsRNAの生成を低減しました。さらに、遺伝子改変によりキャップ構造を付加する活性を増強し本試薬と補助酵素試薬等を組み合わせることで、高品質でキャップ構造の付加されたmRNAを効率よく合成できるようになりました。

当社では、mRNAワクチン製造用酵素などのAM製品(製造補助剤)の充実を図るとともに、CDMOとしてmRNAワクチン関連の開発・製造、品質試験の受託サービスを提供し、mRNAワクチンの普及をワンストップで支援してまいります。

*キャップ構造
真核生物のmRNAの5'末端に見られる修飾構造で、タンパク質の翻訳活性に必要な構造。



PrimeCap™ T7 RNA Polymerase (low dsRNA)

連結財務状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当連結会計年度 2024年3月31日現在	科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当連結会計年度 2024年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	77,569	62,759	流動負債	14,375	7,168
現金及び預金	51,847	35,416	支払手形及び買掛金	2,323	1,543
受取手形	244	33	リース債務	151	180
電子記録債権	984	1,143	未払金	4,405	1,919
売掛金	11,338	10,181	未払法人税等	672	128
商品及び製品	6,248	6,784	賞与引当金	1,065	962
仕掛品	1,125	970	その他	5,756	2,433
原材料及び貯蔵品	3,714	4,096	固定負債	2,372	2,299
その他	2,184	4,205	リース債務	821	788
貸倒引当金	△118	△72	繰延税金負債	179	0
固定資産	51,632	58,492	退職給付に係る負債	992	1,102
有形固定資産	40,956	49,075	その他	378	407
建物及び構築物	21,034	20,203	負債合計	16,747	9,467
機械装置及び運搬具	3,500	3,037	純資産の部		
工具、器具及び備品	4,340	3,998	株主資本	104,906	101,330
土地	8,654	8,869	資本金	14,965	14,965
リース資産	578	525	資本剰余金	32,893	32,893
建設仮勘定	2,102	11,712	利益剰余金	57,047	53,471
その他	745	728	その他の包括利益累計額	7,312	10,174
無形固定資産	9,047	8,027	為替換算調整勘定	7,680	10,548
のれん	6,674	6,488	退職給付に係る調整累計額	△367	△373
技術資産	1,011	219	非支配株主持分	235	279
その他	1,360	1,319	純資産合計	112,454	111,784
投資その他の資産	1,627	1,389	負債純資産合計	129,202	121,252
資産合計	129,202	121,252			

連結貸借対照表のPOINT ① 建設仮勘定・・・遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟建設の一時金支払等によるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	科目	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	78,142	43,505	特別利益	930	3
売上原価	33,377	16,597	固定資産売却益	251	3
売上総利益	44,765	26,908	受取保険金	678	—
販売費及び一般管理費	24,224	23,905	特別損失	388	554
営業利益	20,541	3,003	固定資産除売却損	348	347
営業外収益	363	513	減損損失	—	207
受取利息	142	186	その他	39	—
為替差益	—	97	税金等調整前当期純利益	21,224	2,853
不動産賃貸料	158	165	法人税、住民税及び事業税	4,679	1,292
その他	62	64	法人税等調整額	496	50
営業外費用	221	111	法人税等合計	5,176	1,343
支払利息	24	23	当期純利益	16,047	1,510
為替差損	120	—	非支配株主に帰属する当期純利益	35	29
不動産賃貸費用	70	74	親会社株主に帰属する当期純利益	16,012	1,480
その他	6	12			
経常利益	20,682	3,405			

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
当期純利益	16,047	1,510
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,478	2,882
退職給付に係る調整額	△163	△5
その他の包括利益合計	4,315	2,877
包括利益	20,363	4,387
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	20,319	4,343
非支配株主に係る包括利益	43	44

連結キャッシュ・フロー計算書のPOINT ② 営業活動によるキャッシュ・フロー・・・税金等調整前当期純利益の減少と棚卸資産の増加等によるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
② 営業活動によるキャッシュ・フロー	36,897	1,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,693	△13,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,119	△5,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	813	678
現金及び現金同等物の増減額	26,897	△15,886
現金及び現金同等物の期首残高	22,160	49,058
現金及び現金同等物の期末残高	49,058	33,171

会社概要 (2024年3月31日現在)

会社概要

商号	タカラバイオ株式会社 TAKARA BIO INC.
本店所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号 電話 077-565-6920(代表)・6970(IR担当)
設立年月日	2002年4月1日
資本金	149億6582万8496円
事業内容	試薬・機器などの製造・販売事業、 受託事業、遺伝子医療事業
従業員数	1,838名(タカラバイオグループ連結)

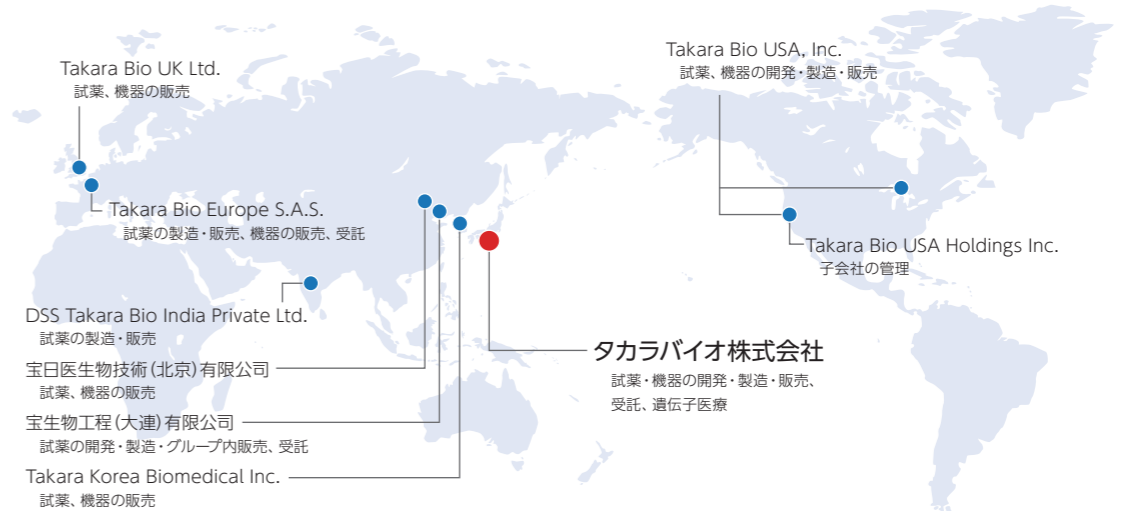
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式総数	120,415,600 株
株主総数	45,605 名
単元株主数	42,471 名

所有者別株式分布状況



タカラバイオグループ会社



取締役および監査役 (2024年6月21日現在)

取締役

代表取締役社長	仲尾 功一
取締役副社長	峰野 純一
専務取締役	浜岡 陽
専務取締役	宮村 毅
専務取締役	日下部 克彦
取締役	木村 睦
取締役(社外取締役)	河島 伸子
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	松村 謙臣

監査役

常勤監査役	喜多 昭彦
常勤監査役	玉置 雅英
監査役(社外監査役)	鎌田 邦彦
監査役(社外監査役)	姫岩 康雄
監査役(社外監査役)	牧川 方昭

ホームページでもさまざまな
情報を発信しています。
<https://www.takara-bio.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。 ウェブサイトアドレス https://www.takara-bio.co.jp
定時株主総会	毎年6月		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。	株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
単元株式数	100株		
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場		
証券コード	4974		

株式に関するお問い合わせ先 以下の表をご覧ください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
マイナンバーのお届出に関する電話お問い合わせ先		0120-84-0178(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
各種手続お取扱店 (住所変更、配当金受取方法の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店	*トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	みずほ信託銀行株式会社 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
ご注意	支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買はできません。株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座から株式の振替手続が必要となります。

■単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して買取請求を行うことができます。

【お問い合わせ先】証券会社の口座で管理されている単元未満株式 ⇒ 口座を開設されている証券会社
特別口座で管理されている単元未満株式 ⇒ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

口座振込による配当金受取のご案内

「配当金振込指定書」

をご提出いただくだけで、手続きが完了します。お手続きの詳細・お問い合わせは、お取引の証券会社へご連絡ください。(特別口座は除く)

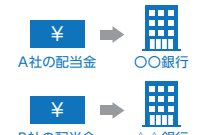
配当金のもらい忘れがなくなります

銀行窓口に行く必要がありません

配当金のお受け取り方法は、右記の3つの方式からお選びいただけます。

銀行口座で受領

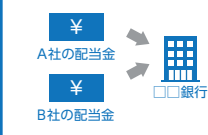
1 個別銘柄指定方式



銘柄ごとに銀行等の口座を指定し、配当金をお受け取りいただける方式です。


証券口座で受領

2 登録配当金受領口座方式



すべての銘柄の配当金を、あらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座でお受け取りいただける方式です。

3 株式数比例配分方式



お取引の証券会社の証券口座で配当金をお受け取りいただける方式です。

免責事項：本報告書に記載されている業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

株主通信「株主のみなさまへ」発行取りやめのお知らせ

株主の皆様へご送付しておりましたタカラバイオグループの株主通信につきまして、地球環境を配慮した省資源化の観点や当社ウェブサイトの内容と重複していることから、今号の「第22期 報告書」をもちまして、発行を取りやめさせていただきます。何卒ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。当社の主要な情報、最新情報につきまして、今後は当社ウェブサイトにてご確認ください。

タカラバイオウェブサイトはこちら ▶ <https://www.takara-bio.co.jp/ja/index.html>



タカラバイオ株式会社

〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
URL: <https://www.takara-bio.co.jp>

